

2021年9月期  
第1四半期

# 決算説明資料

---

2021/2/12

株式会社ピアズ

東証マザーズ 7066



peers  
NEW NORMAL ACCELERATION

# 2021年9月期 第1四半期業績（連結）

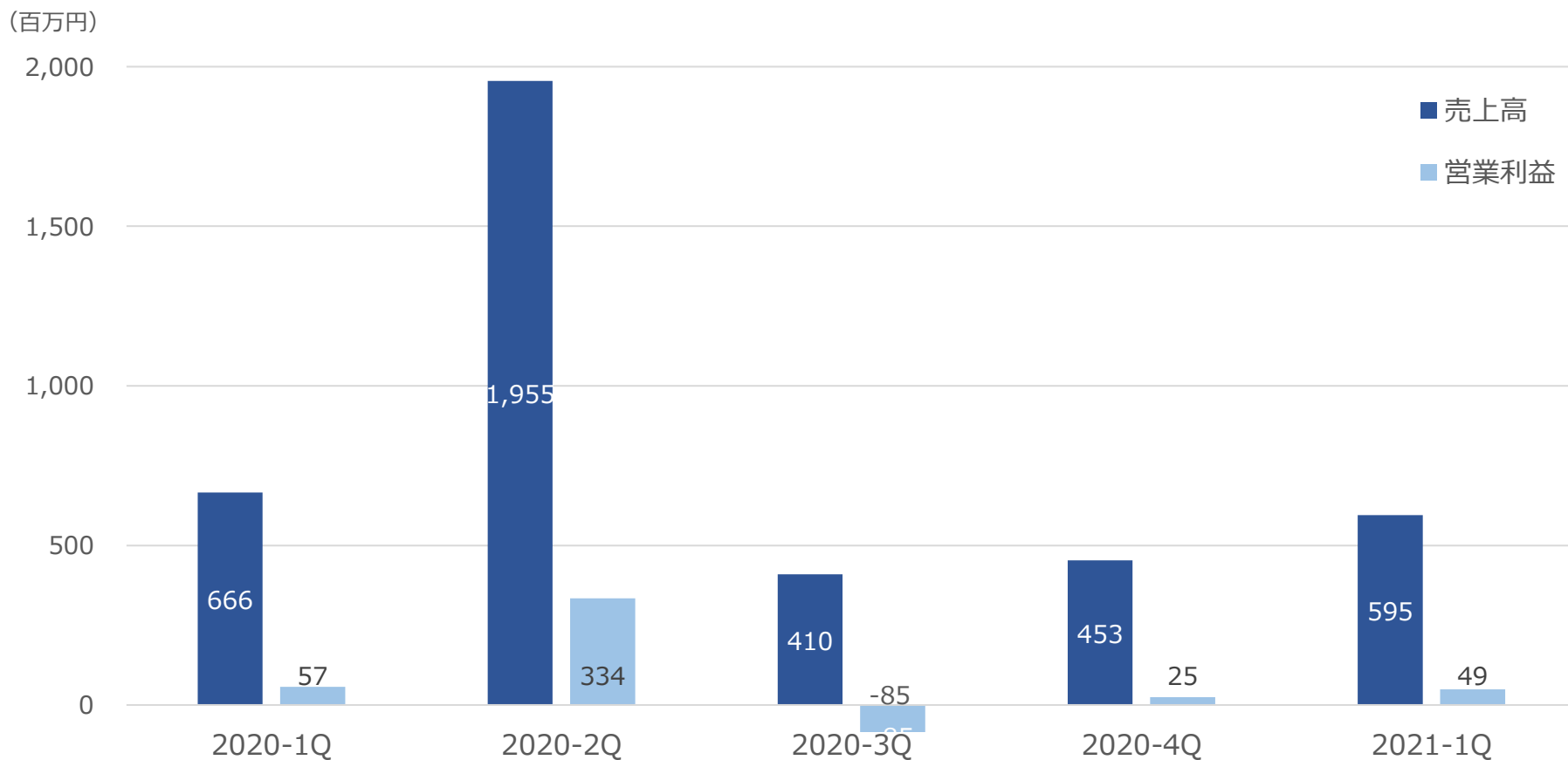
新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、オフライン案件実施に遅れが発生。  
案件のオンライン化を進めるものの、減収減益となった。

(単位：百万円)	2020年9月期 第1四半期※	2021年9月期 第1四半期	前年同期比	
	実績	実績	増減額	増減率
売上高	666	595	△70	△10.6%
営業利益	57	49	△7	△13.8%
経常利益	57	65	7	+12.4%
四半期純利益	37	38	0.9	+2.6%

※当社は2020年9月期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同期比は参考値となります。

# 四半期業績の推移

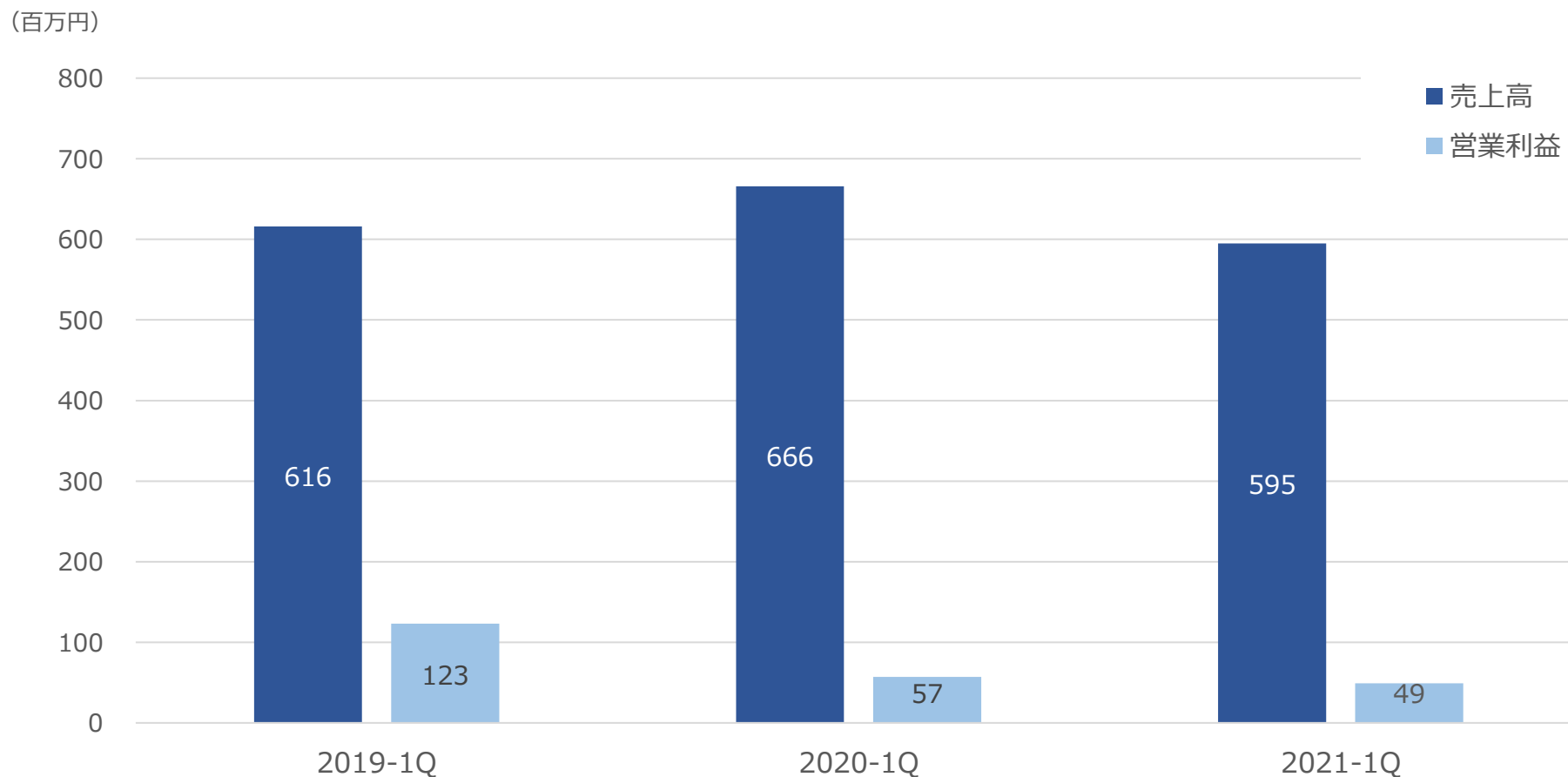
緊急事態宣言が長引くことで、オフライン案件の延期や中止が増えるも、店舗DX事業への投資、事業ポートフォリオの転換により業績は回復基調にある。



※当社は2020年9月期第3四半期より連結決算へ移行しているため、2020年9月期第2四半期までは単体決算数値となります。

# 第1四半期業績の推移

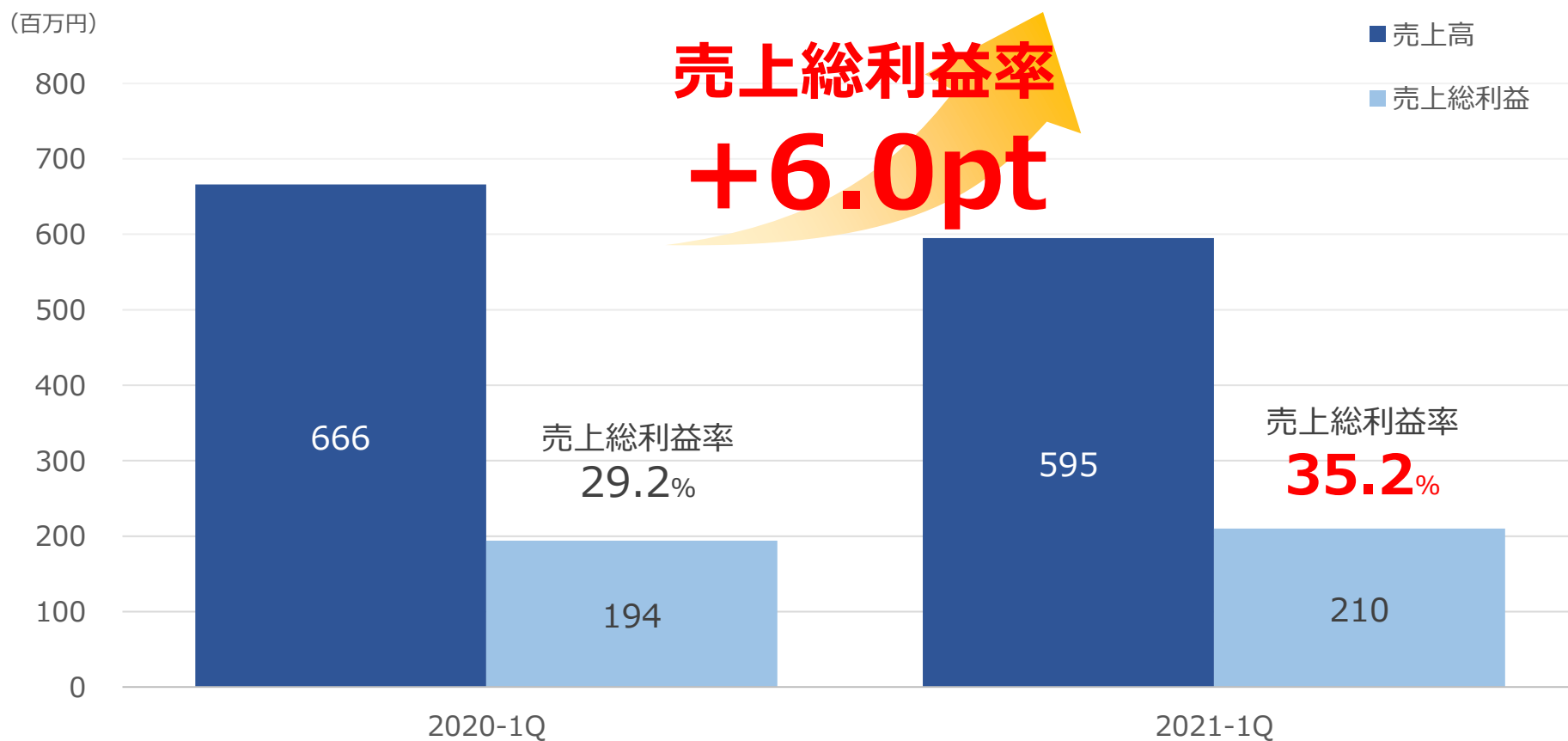
第1四半期の業績としては、例年と遜色ない内容となっている。



※当社は2020年9月期第3四半期より連結決算へ移行しているため、2019年度及び2020年度は単体決算数値となります。

# コスト構造の変化①

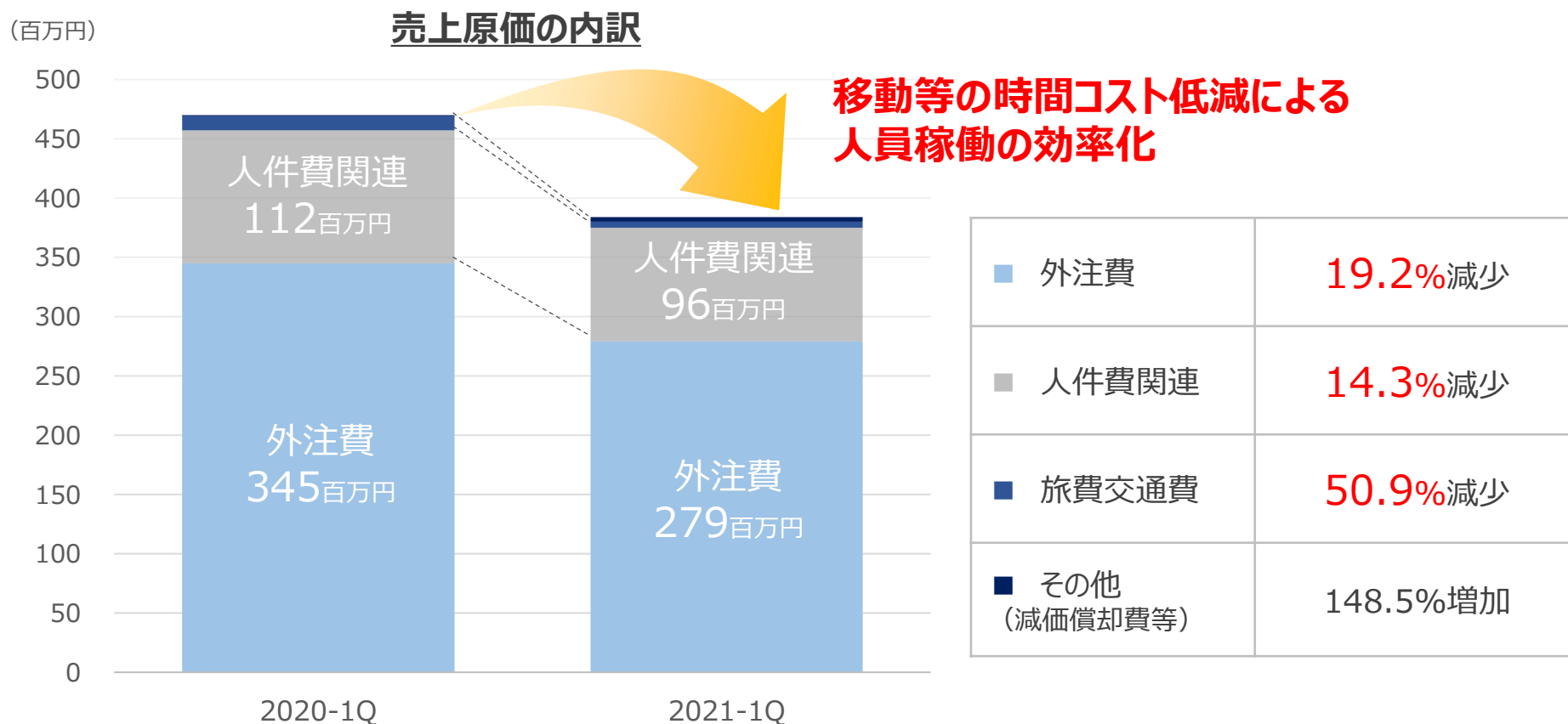
売上高・営業利益は前年同期比で減収減益したものの、  
事業ポートフォリオの転換により売上総利益に関しては前年同期比で6.0pt上昇した。



※当社は2020年9月期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年度数値は参考値となります。

## コスト構造の変化②

事業ポートフォリオの転換により、コスト構造の変化が進んでいる。オンライン化により人員稼働が効率化し外注費・人件費が低減、現場への移動が不要になったことにより旅費交通費の低減がされ、コストが圧縮された。



※当社は2020年9月期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年度数値は参考値となります。

# 連結貸借対照表

高い自己資本比率と潤沢な手元資金を確保。  
財務基盤は健全な状態を維持している。

(単位：百万円)	2020年9月末	2020年12月末	増減額
流動資産	2,935	2,864	△71
固定資産	202	257	+54
<b>資産合計</b>	<b>3,138</b>	<b>3,121</b>	<b>△16</b>
流動負債	501	516	+14
固定負債	500	500	—
<b>負債合計</b>	<b>1,001</b>	<b>1,016</b>	<b>+14</b>
<b>純資産合計</b>	<b>2,136</b>	<b>2,105</b>	<b>△30</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>3,138</b>	<b>3,121</b>	<b>△16</b>
<b>自己資本比率</b>	<b>68.0%</b>	<b>67.4%</b>	


# TOPIC: リテールテック領域での事業拡大

## 店舗DX事業のドメインの拡大がスタート

通信業界で培った顧客接点におけるコンサルティングノウハウを他業界へ拡大させ、提供価値の最大化に向けた国内外のリテールテック関連企業とサービスアライアンスを拡大中。

### リテールテックプラットフォーム

リテール マーケティング	スマートラベル	決済	インテリジェント システム	その他
デジタルサイネージ オンライン接客 AI接客トレーニング ...	Beacon RFID スマートシェルフ ロケーション トラッキング ...	POS セルフオーダー モバイル決済 ダイナミック プライシング ...	AR VR IoT ...	ロボティクス データ分析 ...

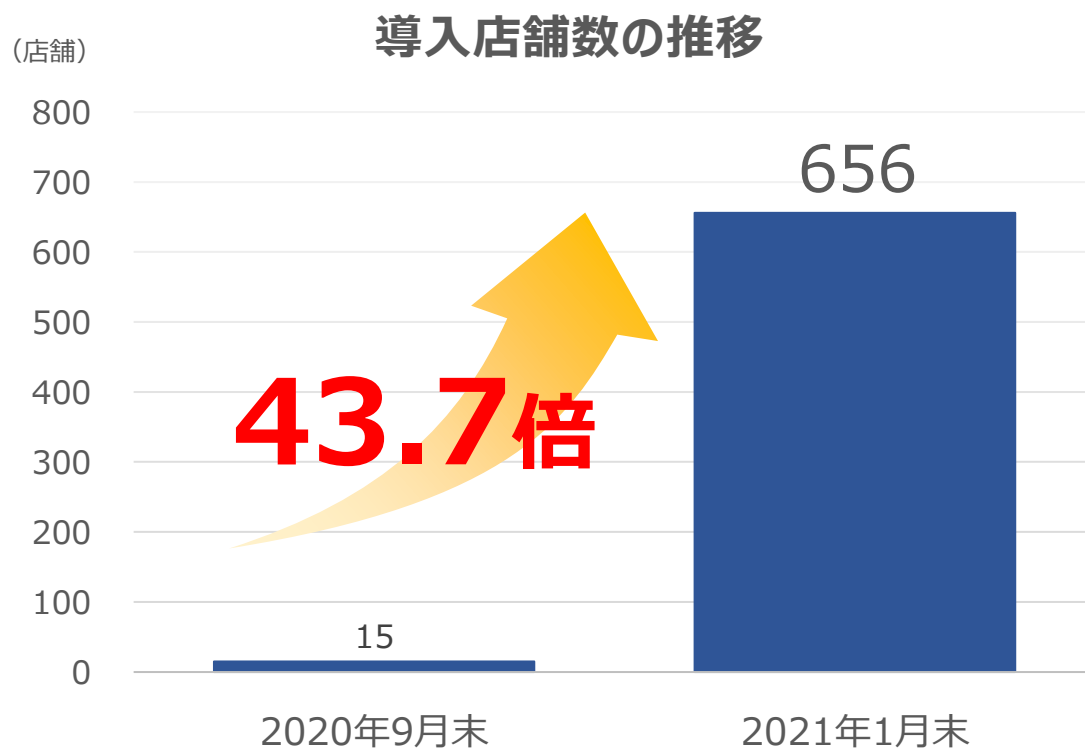
 **peers** 日本の小売業に世界中の最適なテクノロジーを繋ぎこむ



# TOPIC: リテールテック領域での事業拡大①

## 「ZEROレジ」導入店舗が650店舗を突破

当社子会社のXERO株式会社が提供する、スマートフォンからアプリレスで事前注文 & キャッシュレス決済ができるモバイルオーダーサービスの提供店舗が**全国656店舗**へと拡大した。導入店舗開拓数においては通期計画の約8割を達成し、今後も積極的に投資を行う。



# TOPIC: リテールテック領域での事業拡大②

## システムを活用した非対面型のオンライン接客事業の立ち上げ

オンラインでの非対面型の接客により、接客・販売の効率化と同時にお客様満足へ寄与。2021年1月にはオンラインセンターを秋葉原に開所し、今後も需要の拡大を見込む。



### オンライン接客の4つのメリット

POINT  
1

移動時間・交通費の削減

POINT  
2

スタッフのマネジメント効率UP

POINT  
3

ナレッジ共有の効率UP

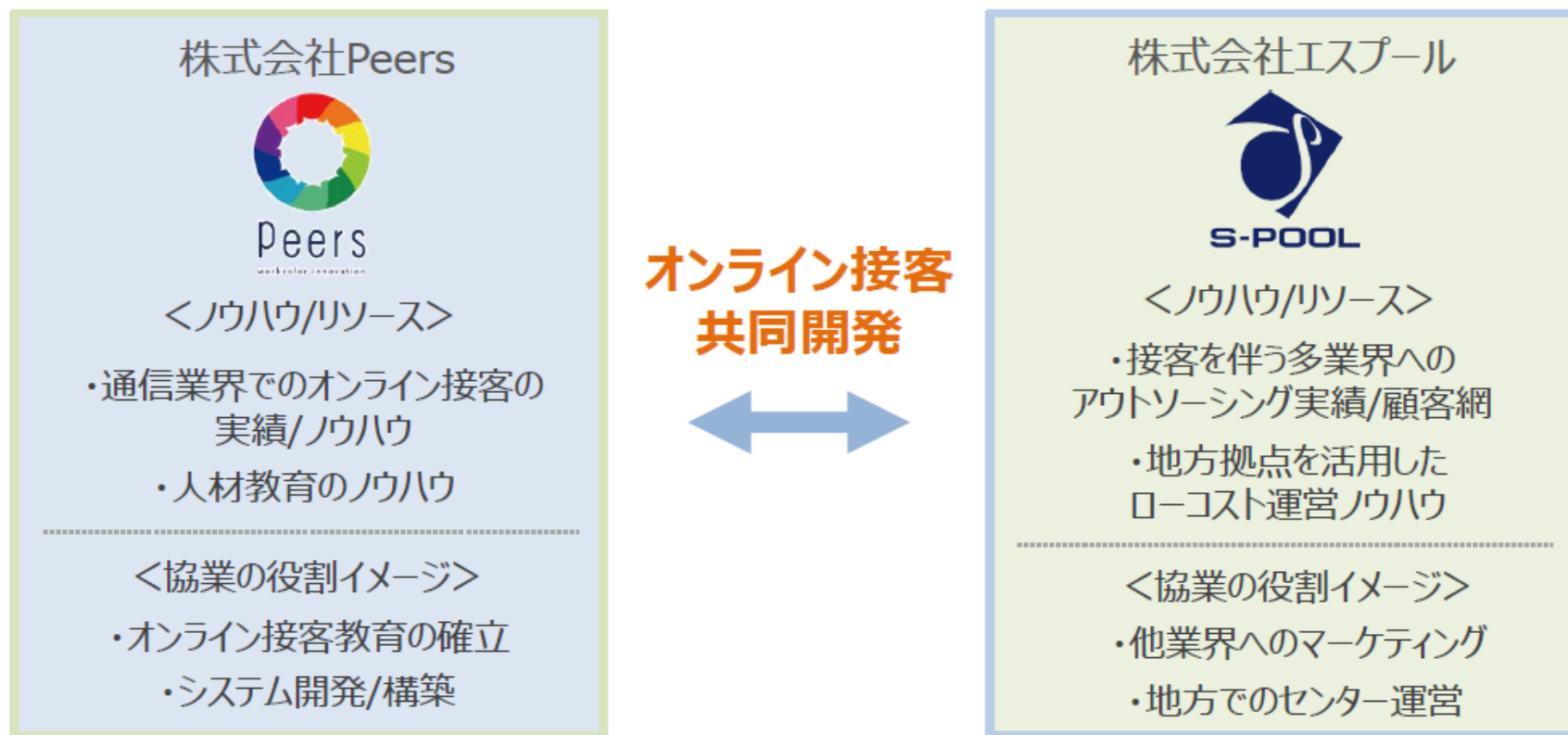
POINT  
4

離職率DOWN

# TOPIC: リテールテック領域での事業拡大②

## 非対面型オンライン接客におけるエスプール社との業務提携

通信業界におけるオンライン接客の実績・ノウハウを他業界へ展開していくためエスプール社と共同でサービス開発・提供を行っていくことを目的とした業務提携契約を締結。



本件の詳細は[リリース文書](#)をご確認ください

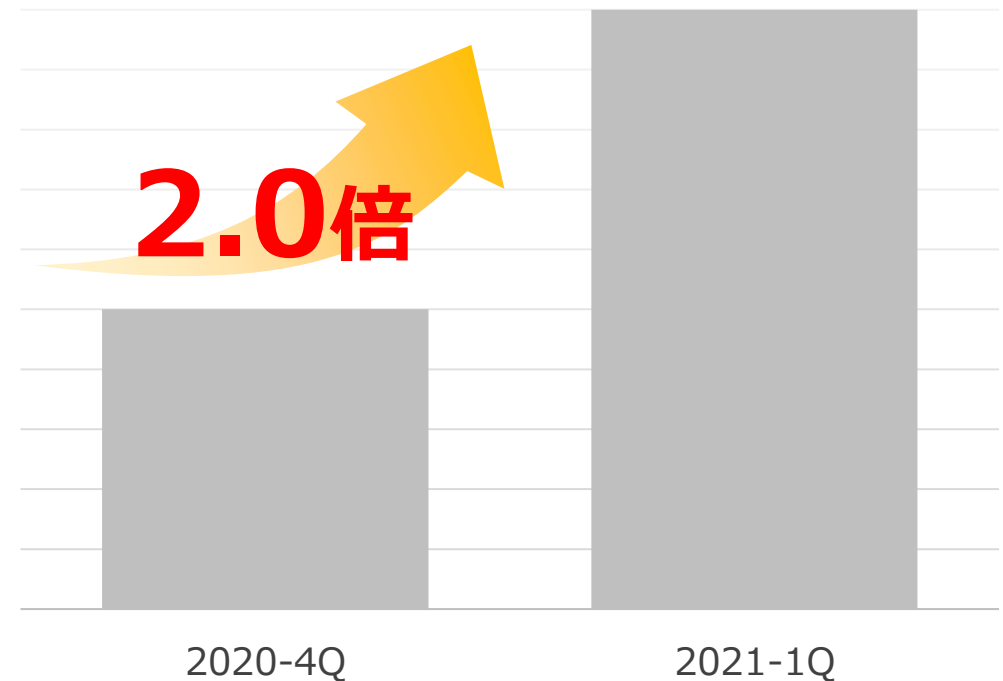
# TOPIC: リテールテック領域での事業拡大③

## 営業・販売のナレッジ共有サービス「ノゾケル」が好評

当社子会社の株式会社OneColorsが2020年8月にリリースした「ノゾケル」が好評。コロナ禍により営業活動のオンラインへの切り替えを余儀なくされ、営業の難易度が上がる中、ノゾケル導入後過去最高の売上実績をあげる提供先が増加中。



## ノゾケル導入社数



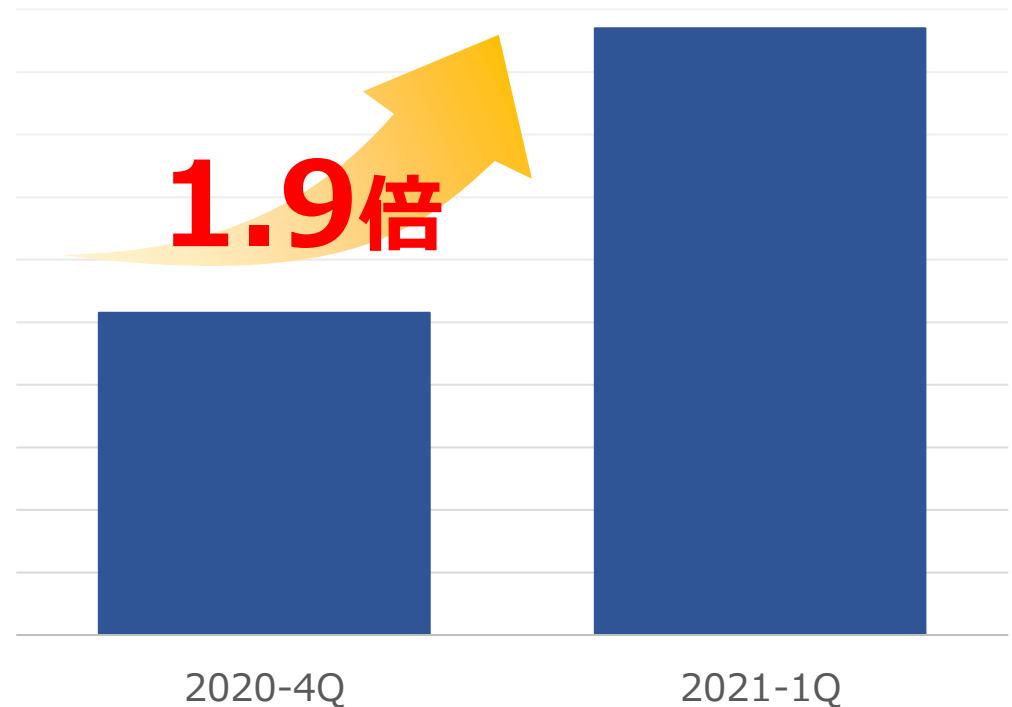
# TOPIC: 既存サービスのオンライン化

## 表情解析AIトレーニング、オンライン研修への転換

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、従来の研修サービスがオンライン研修や表情解析AIによるトレーニングへ移行が進む。効率性の高さから今後も定着していくと考えられる。

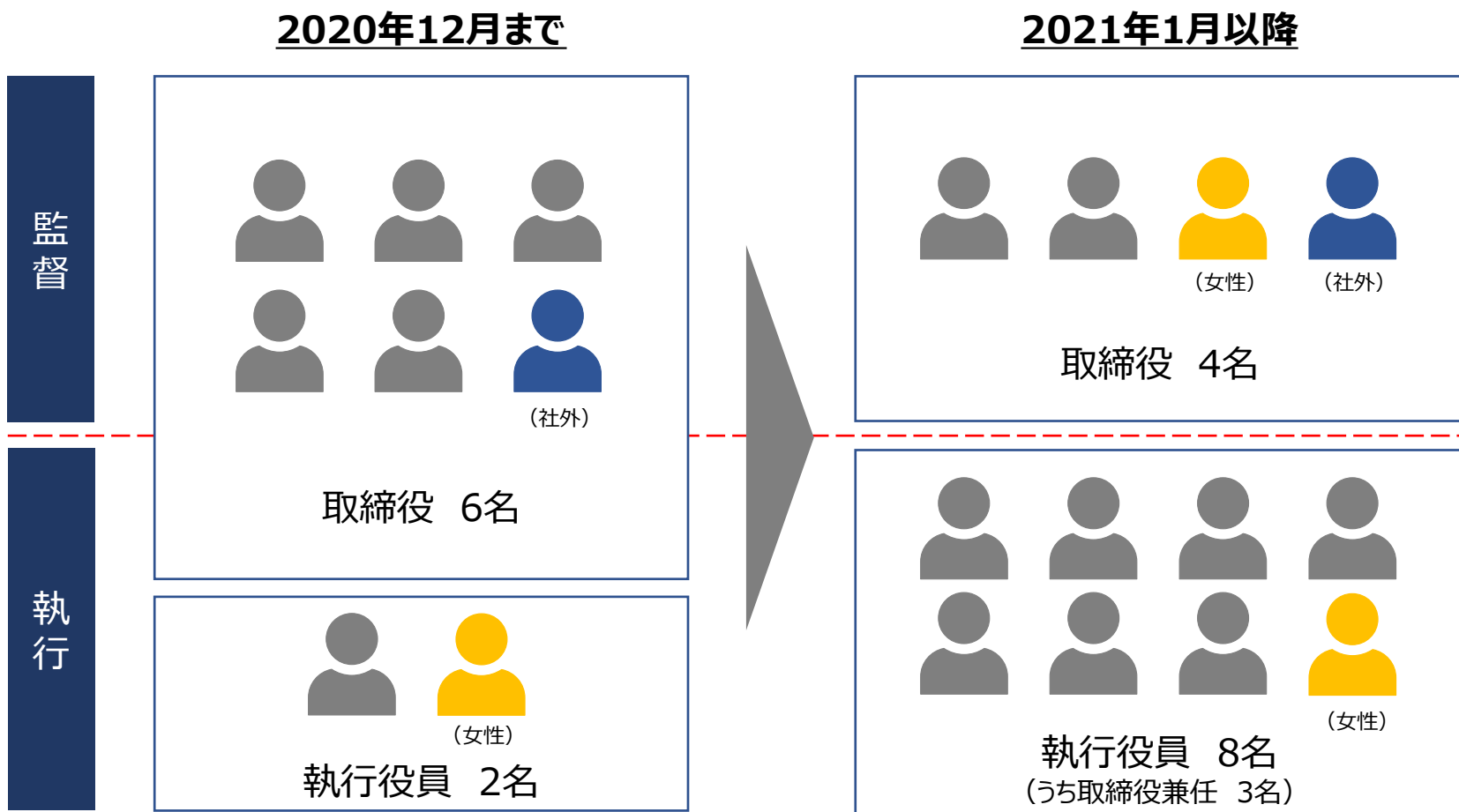


### オンライン研修実施回数の推移



# TOPIC: 執行役員体制への移行

2021年1月より、役員人事を大幅に変更。  
取締役の人数を適正化し、執行役員体制へ移行することによって  
経営の監督と執行の分離を行いガバナンス強化を図る。



# まとめ

## リテールテック領域へのポートフォリオ転換

- オンライン接客やゼロレジ等の店舗DX事業の拡大により、リテールテック領域への投資を進めており、今期及び来期に関しては利益確保ではなく事業ポートフォリオの変更を戦略の中心とする

## オンライン化への対応

- セールスプロモーション及び研修に関しては、オンラインでの実施へ切り替えを行ったことから業績は回復基調にあり、中長期的な成長が見込まれる
- オンライン化によりコスト構造の改善が行われている

## 新型コロナウイルス感染拡大の影響

- 2020年9月期3Q以降、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けている
- 外出自粛要請等により、昨年度の業績を牽引したキャッシュレス推進の営業自粛、案件実施の遅れが発生し、第1四半期の業績は前年同期比で減収減益となった

2021年9月期第1四半期  
決算説明資料

# Appendix

---



peers  
NEW NORMAL ACCELERATION



# 会社概要

---

会 社 名 : 株式会社ピアズ

---

事 業 内 容 : 店舗DX事業、働き方革新事業、セールスプロモーション事業、Labo

---

事 業 開 始 : 2005年1月 (設立 2002年)

---

本 社 : 東京都港区西新橋2-9-1 PMO西新橋 5F

---

代 表 取 締 役 : 桑野 隆司

---

従 業 員 数 : 254名 (社員98名・パートナー社員156名) ※

---

上 場 市 場 : 東証マザーズ 証券コード7066 (2019年6月20日上場)

---

資 本 金 : 438百万円 ※

---

# 子会社一覧



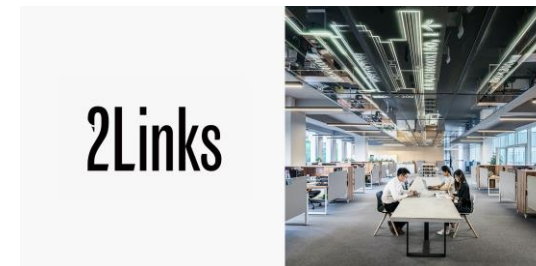
## 株式会社OneColors

事業内容 組織コンサルティング  
 代表取締役 堂前 晋平  
 資本金 500万円・準備金500万円  
 出資比率 100%



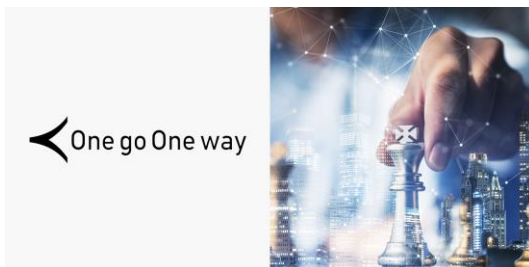
## XERO株式会社

事業内容 モバイルオーダー決済サービス  
 代表取締役 小沼 亮  
 資本金 500万円・準備金500万円  
 出資比率 100%



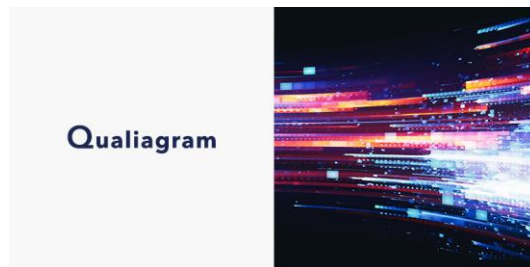
## 2Links株式会社

事業内容 リモートワーク推進  
 代表取締役 森岡 真生  
 資本金 500万円・準備金500万円  
 出資比率 60%



## 株式会社One go One way

事業内容 総合支援事業  
 代表取締役 清田 直哉  
 資本金 100万円  
 出資比率 100%



## 株式会社Qualiagram

事業内容 企画・開発  
 代表取締役 吉井 雅己  
 資本金 500万円・準備金500万円  
 出資比率 100%

# 免責事項

- 本資料に記載された将来情報等は、本資料作成時点における弊社の認識、意見、判断及び予測であり、その実現を保証するものではありません。様々な要因の変化により実際の業績や結果と乖離が生じる可能性がありますのでご承知おき下さい。
- 本資料に記載されている弊社及び弊社以外の企業に関わる情報は、公開されている情報などから引用しており、その情報の正確性などについて保証するものではありません。
- 本資料は、弊社をご理解いただくための情報提供を目的としたものであり、弊社が発行する有価証券への投資を勧誘するものではありません。本資料に全面的に依拠した投資等の判断は差し控え願います。

IRに関するお問い合わせ

株式会社ピアズ 経営企画部 IR担当

E-mail [IR@peers.jp](mailto:IR@peers.jp)

URL <https://peers.jp/ir/contact>